

# 若手研究者コラムリレー

## 沼津 直樹 (ぬまづ なおき)



### プロフィール

日本体育大学大学院体育科学研究科 助教  
日本体育学会の専門領域: バイオメカニクス/体育方法  
大阪府藤井寺市 出身  
2013年 関西学院大学人間福祉学部人間科学科 卒業  
2015年 筑波大学大学院人間総合科学研究科体育学専攻 修了  
2019年 筑波大学大学院人間総合科学研究科体育科学専攻 修了 博士(体育科学)  
2019年 筑波大学 スポーツR&Dコア 非常勤研究員  
2020年4月より 現職  
2013年 日本フットボール学会11thCongress 奨励賞 受賞  
2020年 第26回日本バイオメカニクス学会大会 奨励賞 受賞  
E-mail: n-numazu@nittai.ac.jpまたはnumazunaoki.gk@gmail.com



指導教員の先生と筆者(学位授与式にて)  
先生のプライバシーのためぼかしを入れています

### わたしの研究

#### サッカーにおけるゴールキーパーのダイビング動作に関する研究

サッカーは僅かな点差で試合の勝敗が決することが多いため、得点するだけでなく、失点しないことも勝利するためには重要な要素となります。GKがシュートを防ぐ際に行うダイビング動作に関する研究の多くは、特定の位置に固定したボールという動作時間に制約のない状況でのダイビング動作が対象とされてきました。しかし、実際のGKのダイビング動作は飛来するシュートを防ぐという、動作時間に制約がある状況で行われる動作です。そのため、私は実際の試合映像を分析し、高頻度で見られるシュート場面と、その時GKが高頻度で使用するダイビング動作を対象として、バイオメカニクスの分析を行っています。

現在は、①GKがシュートを防ぐことができなかったバイオメカニクスの要因や②実際にシュートを行ったキッカーの動作からGKに役立つ情報(シュートコースを予測できないか)といったことにも取り組んでいます。

GKの指導現場では「十分な指導を受けられず、選手同士で練習していることも多い」ことが問題に挙げられています。そのため、研究を通して皆さんにGKの重要性やGKを簡便に評価する方法を発信できるようになることが私の最終目標です。



#### わたしの運身の論文・書籍・記事

沼津直樹ほか. サッカーのシュート場面におけるゴールキーパーのシュートコース予測に関するバイオメカニクスの研究. バイオメカニクス25:21-32, 2020.

### (なんでも帳)

私は現在、大学院の中でもコーチング学専攻という場で活動しております。その活動の中で、量的研究ではまだまだ表現しづらい、選手や指導者の「感覚」や「現場特有の言語表現」などをまとめ、現場の「今」を捉えようとする質的研究の面白さに触れることができたのは非常に貴重な経験だと感じています。

博士後期課程在籍中、指導教員の先生との研究ミーティングで「この結果を選手や指導者が聞いたらどう思うだろうか」といった内容をよく問われました。そのため、現在でも私が研究を進めていく中で「選手や指導者がどう思うか」といったことは意識している点となっています。また、指導現場では、数値によって客観的事実を示すだけでなく、運動者の内的感覚も重要となってきます。そのため、質的研究に量的研究を利用することは、私の知的好奇心を満たすだけでなく、意義深い研究になるような気がしています。

現在の任期の中で、学生の論文執筆のお手伝いしながら、量的研究法だけでなく、質的研究法についても学ぶことで、量と質の両面からのアプローチによって、「身体知」の獲得を促進できるような研究者になれるよう努力しつつ、次のキャリアに繋げられるよう、日々精進してまいりたいと思います。

日本体育・スポーツ・健康学会  
若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が発足しました！→メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPq5fY3kcB5g2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

[taikugakkaiwakate@gmail.com](mailto:taikugakkaiwakate@gmail.com) (担当: 木村)

